



営農支援課 TAC
堀井 崇史

診断結果について

土壌分析を受けた方には、各項目の数値が表形式やレーダーチャートに整理した報告書が送られます。

実際の分析結果報告書(全農京都での分析結果) ※用紙はサンプルです

農協 太郎 様

〒 A: 京都市 本店

圃場名: A 作物: トウモロコシ類

総合評価

● pHが高くなっています。セリカ等、石灰質肥料の施用を控えましょう。
○ リン酸が過剰に蓄積しています。硝酸等のリン酸質肥料の施用を控えましょう。
○ 若土と加里のバランスが悪く、若土欠乏が発生しやすい状態です。若土:加里=2:1の理想的なバランスを留意して適正範囲に近づけましょう。
○ 腐植は適正範囲にあります。腐植は有機物が分解されたもので、土壌の生物性・化学性・物理性を改善するのに重要です。引き続き、堆肥や有機肥料を適正範囲を維持しましょう。

項目名	単位	適正範囲	分析値	判定
pH		6.0 ~ 6.5	7.1	高い
EC	mS/cm	0.2 ~ 0.9	0.12	低い
リン酸吸収係数				
可給態リン酸	mg/100g	20 ~ 100	224	過剰
CEC	me/100g		14.4	
交換性石灰	mg/100g	202 ~ 282	311	高い
交換性若土	mg/100g	43 ~ 58	33	低い
交換性加里	mg/100g	31 ~ 68	42	適正
塩基飽和度	%	60 ~ 90	95	高い
石灰若土比		2.0 ~ 8.0	6.8	適正
若土加里比		2.0 ~ 6.0	1.9	低い
硝酸態窒素	mg/100g		1.8	
腐植	%	2.0 ~ 5.0	2.4	適正

Q&A

Q 土壌診断を受けるべきタイミングってどんなときですか？

A 現状を知りたいということであれば、どのタイミングで分析しても構いません。土壌分析の目的を施肥設計にした場合については、収穫後の栄養成分が一番少ない状態で分析することをオススメします。最適な栄養成分を基準にして、何がどれだけ足りないかがわかり、施肥設計の方向が見えてくるからです。

Q 分析結果はどのくらいで分かりますか？

A JA京都市とJA全農では土壌分析機を用いて、分析依頼の対応を進めています。分析結果は時期で異なりますが、基本的に土壌提出から約2週間程度で結果を報告します。ただし、JA京都市とJA全農が実施する土壌分析は、分析項目が一部異なりますので、事前にご確認ください。

Q 分析を受けるのにかかる費用ってどのくらいですか？

A 1件(1圃場)あたり、4,000円(税別)で対応しています。

Q 提出はどのようにすればよろしいでしょうか？

A 正しい手順に従って土壌を採取し、(採取方法は二次元コードよりご確認ください)「土壌分析申込書」に必要事項を記入し、最寄りの支店、または渉外担当者に提出してください。



土壌分析について詳しく聞きたい方は最寄りの支店まで

本店 ☎075-313-2051 松尾支店 ☎075-391-6000 桂支店 ☎075-391-4111 川岡支店 ☎075-391-2345
醍醐支店 ☎075-571-0015 大宮支店 ☎075-491-4060 上賀茂支店 ☎075-791-7872 伏見支店 ☎075-641-7101
山科南部支店 ☎075-594-0275 山科北部支店 ☎075-593-7411 上鳥羽支店 ☎075-681-7271 嵯峨野支店 ☎075-871-4354
久我支店 ☎075-933-4615 修学院支店 ☎075-781-1144 吉祥院支店 ☎075-681-5545 大枝支店 ☎075-331-2626
営農経済部営農支援課 ☎075-754-6176

●LINE 公式アカウント「営農タイムリー」でも旬な営農情報を随時発信中!!

登録はこちらから→



土壌分析を活用し、良質な京野菜を栽培できる健全な土壌を作りましょう!

目的

近年、農地も人間と同じで、年々肥満傾向となり、健全な土壌環境が損なわれ、作物の生育障害が発生する例が見られています。作物を正常に生育させるためには、土壌中の養分状態を作物の要求する量に調節するとともに、他の成分とのバランスをとらなければなりません。そのためには、**土壌の不足している養分と過剰な養分を把握する「土壌診断」**が必要なのです。

効果

- 土壌養分の過不足がわかり、**作物収量・品質が安定・向上**します。
- 土づくり資材等の適切な投入量がわかり、**施肥コスト削減**できる。
- 環境保全に繋がる。

土壌診断の主な分析項目

pH	EC	硝酸態窒素	アンモニア態窒素	可給態リン酸
交換性加里	交換性石灰	交換性苦土	石灰/苦土比	苦土/加里比

pH 酸性、アルカリ性を示す指標

pHは0~14の値で示される数値で、**7程度を中性**、**7から小さくなるほど酸性**、**7より大きくなるほどアルカリ性**となります。土壌の場合、一般的な適正値は6.5程度であり、6.0を下回ると酸性と呼ばれます。また、**6.5~7.0以上**になると作物の生育に必要な**ホウ素、鉄、マンガン**などの**微量元素が土壌中で溶解しにくくなり、欠乏**することがあります。

EC 土壌の塩類濃度を示す尺度

EC(Electrical Conductivity)は日本語では**電気伝導度**といいます。**EC**は土壌中の**塩類濃度**の目安となり、**高いほど養分量が多い**こととなります。表示の単位はmS/cmまたはdS/mで表します。ハウス栽培では、雨で養分が流されてしまうことがないため、ECが高くなる傾向にあります。**土壌中の肥料養分濃度が高くなると、根が水分を吸収できなくなるなどの「塩類濃度障害」(肥[こえ]やけ)**を起こすことがあります。

可給態リン酸 作物が吸収できるりん酸量の指標

主にトルオーグ法という測定方法によって求められる**土壌中のりん酸量**をいいます。土壌はりん酸を吸収、固定してしまう性質をもつものが多いため、施用したりん酸がすべて作物に利用されるわけではありません。そこで、**作物が吸収できるりん酸が土壌中にどのくらいあるのかを示す指標**である可給態りん酸を測定し、**適正なりん酸施用量**を把握してください。



本店から農機センターへ レンタル農機の引き取り場所が変わります

より多くの組合員への機動的な対応を図るレンタル事業を農機センターへ移行いたします。9月1日よりレンタル農機の引き取り場所を農機センターへ移動しますのでご了解ください。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

申込の流れ



※詳細については、最寄りの店舗にお問い合わせください。

貸出農機ラインナップ

共立

ハンマーナイフモアー
HRC664



共立

ハンマーナイフモアー
HR665



クボタ

トラクター
FT240



共立

ウッドチップパー
KCM152BL



共立

ウッドチップパー
KCM94



タカキタ

ロールバーラー
SE-511



農機センター 京都市西京区松尾井戸町68-2
TEL 075-391-4193

農機センターの休日営業のお知らせ

下記の期間は休まず営業致しますので、お気軽にご相談ください。

営業日

9月16日(土)から10月8日(日)



営業時間

毎週土日 午前9時～午後4時

TEL

(075)391-4193